



ニュースレター

セネガル国 コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト

《 ドレール CMU 》

2018 年 4 月

【はじめに】

世界的な保健課題であるユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）を推進する上では、保健医療の需要と供給、両面の強化が必要です。需要面では、総ての人々が経済的な困難に陥ることなく良質な保健医療サービスにアクセスできる医療保障制度の確立が必要ですが、JICA としてこの需要面を支援するアフリカ初のプロジェクトが、2018 年 10 月末から開始された「セネガル国 コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト：略称『ドレール CMU』」です（「ドレール」とはウォロフ語で「強化する」という意味です）。

このニュースレターではプロジェクト開始後 5 か月の活動内容を簡単にお知らせします。

【活動計画共有・最終化ワークショップの開催】

プロジェクト開始にあたり、今後の活動計画について関係者で合意を得る必要があります。そのため、中央および対象 3 州の関係者を集め、活動計画共有・最終化ワークショップ（2017 年 11 月 28、29 日）を開催しました（参加者 45 名）。

会合では、ワークプラン案の説明、プロジェクト対象県の選定基準と対象県の検討、プロジェクト呼称の提案、CMU 庁の活動計画におけるプロジェクト活動の位置づけの確認、をテーマに議論しました。

このワークショップ後、ワークプラン最終化のための技術小委員会が設けられ、最終化作業を実施しました。また技術小委員会において、ワークショップの中で最も多く提案された「ドレール CMU」をプロジェクト呼称とすることに決定しました。

【トピック】

1. はじめに
2. 活動計画共有・最終化ワークショップの開催
3. アセスメント調査の実施
4. ワーキンググループの開催
5. 合同調整委員会の開催
6. 今後の活動計画



CUM 庁長官によるワークショップ開会の挨拶



プロジェクト総括による参加者へのワークプランの説明



参加者を州ごとに分けてグループワークを実施

【アセスメント調査の実施】

プロジェクト対象 3 州における、CMU 庁支部、保健共済組合とその県連合・州連合、保健医療施設の現状および研修ニーズ把握のための調査を以下の日程で行いました。

- ▶ ティエス州： 2018/1/4~2/2、3/8~9
- ▶ ジュルベル州： 2018/2/6~3/2
- ▶ タンバクンダ州： 2018/2/21~3/4

調査の準備にあたり、11~12 月にかけて CMU 庁担当者たちと協議しながら質問票を作成しました。調査を行った調査員は、地域の特性や事情に明るい保健共済組合の州・県連合スタッフがほとんどで、円滑な調査実施ができました。また、タンバクンダ州では州知事の協力の下に行政機関の車両を配置することができました。

調査の中では、政府の補助金未配布による多方面への影響、共済組合県連合の多用なマネージメントの実際、組合運営に関わるボランティアが全く無報酬であるこ

とへの不満、民族や政治がらみの問題など、多様な情報が確認されました。

調査の結果、対象 3 州では保健共済組合の運営状況に大きな差があり、ティエス州では多くの組合で医療機関への医療費支払いが行われている一方で、タンバクンダ州では加入者が少ない新設の組合が多く、医療費支払いがまだ開始されていない組合が多数見られました。

今後、本調査から導き出される分析結果を基に、各州、各対象県の実情に即した研修計画や機材供与計画を策定する予定です。



調査員向け質問票研修（講義）



調査員向け質問票研修（実地）

【各州ワーキンググループの開催】

プロジェクトの方向性の確認や、課題・経験を共有する場として、国家・州レベルにワーキンググループ（WG）を設置し、定期的に会合を開くことになっています。1 月下旬から 2 月初旬めにかけて対象 3 州でそれぞれ第 1 回 WG を開催しました。

ワーキンググループは各州の知事を議長として、地方議会代表、地方自治体代表、関連省庁の州職員、州医務局長、州病院長、保健地区長、保健共済組合連合会代表など、各々 40-50 名の参加で行われました。

各会合では、プロジェクトの概要を説明するとともに、プ

ロジェクト活動を集中して行う対象県を選定し、WG の役割やメンバー構成を定義しました。対象県の選定については昨年 11 月に開催したワークショップで討議した選定基準とスコアリング結果に基づいた選定結果を紹介、質疑応答を経て全会一致で承認されました。対象県は次の通りです。

- ▶ ジュルベル州： ンバケ県
- ▶ タンバクンダ州： クンペントウム県
- ▶ ティエス州： ンブール県



タンバクンダ州 WG (2018/01/17)



ティエス州 WG (2018/01/19)



ジュルベル州 WG (2018/02/05)



ジュルベル州 WG における CMU 庁州支部によるプレゼン

【中央ワーキンググループと合同調整委員会の開催】

州 WG の結果を受け、3月16日に中央 WG と、プロジェクトの最高意思決定機関である合同調整委員会 (JCC) が、午前・午後にそれぞれ開催されました。

中央 WG は、プロジェクトディレクターである CMU 庁長官を議長として、3州の関係者、CMU 庁幹部など 30 名余の参加で行われました。この会議では以下の内容が議論されました。

- ▶ ワーキングプランおよびこれまでの活動進捗を記載したモニタリングシートの確認、
- ▶ 3州の活動対象県の選択に対する確認、
- ▶ アセスメント調査結果の取りまとめの進捗の共有、
- ▶ 今後の計画の確認。

中央 WG の結果を確認する形で、同日夕方 JCC が開催されました。

JCC の議長は保健社会活動省官房長官が予定されていましたが、最近の人事異動で後任がなかなか決まらなかったこともあり、官房の第一技術顧問を議長として開催されました。セネガル側は保健社会活動省官房メンバー、

CMU 庁幹部などが出席、日本側からは在セネガル大使館参事官、JICA 事務所次長などが参加しました。

会議では、プロジェクト開始以来の活動報告および今後の活動予定に協議が行われ、提出されたワークプランとモニタリングシートが承認されました。また、今後の活動計画として以下の内容が確認されました。

- ▶ アセスメント調査結果のまとめと共有、
- ▶ 研修カリキュラムの作成、
- ▶ プロジェクトの公的発表セレモニー (Lancement) の準備、
- ▶ CMU 庁・保健共済組合・保健施設の職員に対する研修活動の計画と実施、
- ▶ コミュニティ健康保険制度及び無料化制度のマニュアル適用を改善するワークショップの計画と実施
- ▶ プロジェクト指標の目標値設定 / プロジェクト指標と活動内容の検討

さらに、今後 JCC は 6 か月ごとに開催することが提案され承認されました。



JCCの様子1 (保健省官房会議室)



JCCの様子2

« Doleel CMU », une valeur ajoutée aux progrès du Sénégal !

"ドレール CMU" : セネガルの進歩への付加価値 !

CMU 庁長官 (プロジェクトディレクター)
Dr. ボカール・ママドゥ・ダ

親愛なる読者の皆さん

セネガル新興計画 (PSE) の第 2 基本路線「人的資本、社会保障および持続可能な開発」の目標の 1 つである疾病リスクのカバレッジの拡大は、CMU 庁が実施する優先プログラムとして確立されました。

2015 年 1 月に創設され、保健社会活動省の技術監督下に置かれた CMU 庁の基本的使命は、セネガルの特に非公式セクターと農村部において、疾病リスクカバレッジの拡大を確実に行うことです。

この使命を支援する目的で、2017 年 11 月に「コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト：ドレール CMU」が開始されました。

このプロジェクトは介入州であるジュールベル、タンバクンダ、ティエスにおいて、人々の医療サービスに対する地理的および財政的なアクセスの向上に確実に貢献するでしょう。プロジェクトが貧困層や社会的弱者のために取り組む、コミュニティ健康保険と無料医療制度の統合活動は、素晴らしい実例となるでしょう。そしてまた、プロジェクトによる、総てのレベルでの参加的かつ包括的なアプローチ手法は、その成功を保証するものです。

このプロジェクトはセネガル政府の努力に大きな付加価値を与えるものです。そして、あなたが手にしているこのニュースレターは、すべてのステークホルダーと受益者との間で、このプロジェクト実施中の活動と結果を共有し、当庁と保健省の関係者間の貴重な情報経路となるでしょう。

Excellente lecture !



[プロジェクト概要]

[上位目標]

セネガルにおけるユニバーサルヘルスカバレッジが促進される

[プロジェクト目標]

コミュニティ健康保険制度と無料医療制度がプロジェクトサイトにおいて強化される

[成果]

1. コミュニティ健康保険制度と無料医療制度の実施支援・管理のため、CMU 庁および CMU 庁州支部の能力が強化される
2. コミュニティ健康保険制度に関する保健共済組合連合会および州・県保険共済組合連合会の能力が強化される
3. コミュニティ健康保険制度と無料医療制度に関連する医療機関の職員の能力が強化される
4. プロジェクト活動から得られた教訓に基づき、コミュニティ健康保険制度と無料医療制度を関係機関と連携しながら改善するための CMU 庁の能力が強化される

[実施期間]

2017 年 10 月～2020 年 9 月

[実施機関]

セネガル国 保健社会活動省 医療保障庁

[対象地域]

ティエス州、ジュールベル州、タンバクンダ州

[今後の活動]

- ▶ 2018 年 4 月 : アセスメント調査結果共有 (第 2 回州 WG)
- ▶ 2018 年 6 月 : 保健共済組合への機材供与
- ▶ 2018 年 6 月～9 月 : 研修の実施
- ▶ 2018 年 7 月 : 第 2 回中央 WG、第 3 回州 WG
- ▶ 2018 年 8 月 : 運用規則等の改善に向けた検討会の開催
- ▶ 2018 年 9 月 : 第 3 回中央 WG、第 4 回州 WG、第 2 回合同調整委員会

セネガル国
コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化
プロジェクト (ドレール CMU)

Contact

住所 : Ngor, Almadies, Zone 10-Lot N 22,
Dakar
(Agence de la Couverture Maladie
Universelle)
E-mail : doleel.cmu@gmail.com